

センセイコール(15)

17) ワードの入力が一瞬ですべて消えた

新しい文書(文書2)を開いてしまったことが原因です。

子どもたちの操作がどうであったかは、想像するしかありませんが、

- ・「ファイル」をクリックしようとして、その下の新規アイコン(端の折れた白い紙)をクリックした
 - ・元々ワードを二つ開いていて、タスクバーの二つ目のワードをクリックした
 - ・Ctrl+N(新規のショートカットキー)を押した
- などで、新規文書の画面に移行することができます。

こうなったときの、状況判断ですが、

- ・タスクバーに二つのワードがないか
- ・タイトルバーの文書名が「文書2」などとなっていないかどうか()

こういう風に、二つ目の文書を開いてしまった場合には、新しいウィンドウを閉じれば大丈夫です。閉じ方は、ウィンドウの右肩、通常の「閉じる」ボタンの下にある、黒い小さめの×印をクリックするのが簡単です。

まれに、文章全部を選択(黒くして)しまってから、Enter キーなどで置き換えてしまった場合には、「元に戻す」で、消えてしまった文章が戻ってきます。

新しい文書を開いていたときに、閉じるときもトラブルの原因になりがちです。保存しないで閉じようとしたときは、保存するかどうか必ず確認画面が出ますが、このとき、作業中の文書は「上書き保存」しているのに、更に確認画面が出る場合があります。これは、「文書1」が表示されているときに何かキー操作をしていて、文書1が変更されている場合です。このとき、「文書1を保存しますか？」となっているのに、それを読まずに、改めて自分の名前をファイル名につけて保存してしまうと、せっかく保存した作品に上書きされてしまい、次に開いたときに「真っ白」ということになります。これも要注意です。画面のメッセージはきちんと読む習慣をつけたいものです。

ワードの場合、初めにワードを開いたときの文書名は「文書1」です。ここで、既存の文書を開くと、文書名がそのファイル名になりますが、一度文書1を開いているので、次に「新規文書」を開くと「文書2」になります。